

【郡城市】六次産業化について

農業所得の向上と地域の雇用創出などを図ることを目的に、その取り組みに対して一部経費を補助する「郡城市はばたけ都城六次産業化総合対策事業」を行っております。補助認定者の年齢構成は30歳代から50歳代とのことであり、意欲のある若手農業者を積極的に登用し、やる気はあるものやり方がわからない人に対して支援を強化しており、具体的には地域の特産品である食用酢の新商品開発、無臭ニンニクの生産と大手企業への提供に至るまでの取組み、地域特産加工品の冷凍商品開発等を現在進行形で行ってまいりました。

【霧島市】霧島ジオパークに係る観光客誘致について

ジオパークとは、一種の自然公園として位置づけられ、霧島市においては、日本最初の国立公園である霧島屋久国立公園内の「霧島山」をふるさとの山と捉える周辺の5市2町が、市町境や県境を越えて連携し、環境・観光・防災などに関わる様々な施策・事業について、お互いに知恵を出し合い協働することにより地域活性化を図っていくことを目的に「環霧島会議」が発足されてまいりました。これにより、地質遺産の保護・研究、教育的活用、環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与させていく取組みを行っております。

議会運営委員会



大型モニターを議場に設置（愛知県稲沢市）

*視察日：平成26年10月28日～30日

*視察先：

愛知県豊明市

岐阜県関市

愛知県稲沢市

三重県亀山市

【豊明市議会】議会改革の取組みについて

平成24年4月に「豊明市議会基本条例」及び「豊明市議会通年議会実施要綱」を制定、通年議会移行に伴い、従来の専決処分項目に2つ条項を加え

運用しております。従来の臨時議会に当たる緊急議会は、平成24年4月以降7回開催されておりました。通年議会導入のメリットは、閉会中でも議長権限で会議を再開できることや、常任委員会等の開催が柔軟に対応可能となり、議案審議や所管事務調査の日数が増えることが挙げられ、政策立案・行政監視の機能強化につながるということです。

【関市議会】タブレット端末の導入について

平成24年2月にタブレット端末12台を購入し、初めは常任委員会と特別委員会に試験的に使用してまいりました。その後9月定例会で本格導入、12月定例会においては完全ペーパーレス化となり現在に至っております。導入の目的はペーパーレス化を図り、「事務の効率化」「コスト削減、省資源化」を推進することが

挙げられておりました。iPadは議員に常時貸与しており、会議での使用のほか、スケジュール管理や現場写真の整理、新聞切り抜きの編集など活用の範囲が広がっております。議員に対して定期的に研修会を開催するなど、更なる活用の推進を図っております。

【稲沢市議会】本会議場設備の導入と活用例について

議場のマイク・録音システムなどの老朽化に伴い機器を更新、55型モニターを議場内に3台設置いたしました。ありのままの姿を市民に公開することが必要と考えモニターを導入したことです。カメラやマイクの操作がタッチパネルとなったことから、操作する事務局職員の人的負担軽減も図られたとのことでした。

【亀山市議会】議会改革推進会議の取組みと議会報告番組「こんにち」市議会ですの運用について

平成22年8月に議会基本条例を制定、継続的な議会改革を推進するため全議員で構成する「議会改革推進会議」を設置いたしました。議会基本条例の逐条ごとに検討項目、問題点を抽出、34項目の課題を整理し、「検討課題カルテ」を作成、全ての検討課題の検討スケジュールを明確にし、取り組みを行なっております。特徴的な活動として、常任委員会において毎年政策テーマを設定し、年間通じて調査・研究を行い、予算編成前に市長に対し政策提言を行なっております。また議会報告番組「こんにち市議会です」をケーブルテレビの1チャンネルを使用し、1日18回、1週間放映しております。